

平成 29 年 4 月 18 日

上越市長 村 山 秀 幸 様

吉川区地域協議会  
会長 片桐 雄二

## 頸北斎場のあり方に関する意見書

日頃より、吉川区の地域づくり全般にわたり、ご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

吉川区地域協議会では、当初示された新上越斎場建設計画と頸北斎場の廃止方針について、十分な調査検討が必要と判断し、独自に慎重審議を進めて参りました。

この度、市健康福祉部から新上越斎場建設と切り離し、当面の頸北斎場存続の方針が示され、地域住民と共々感謝申し上げます。

そもそも頸北斎場は上越市合併以前に、当時の柿崎町、大潟町、そして吉川町の三町が協力し、慎重に協議を重ね資金を出し合って設置した頸北地区の絆ともいえる重要な施設であり、用地選定については、火葬場に付きまとう特殊性の中、これを乗り越えた柿崎町をはじめとした三町の先人諸氏の協力には頭が下がる思いがあります。

ここに、吉川区地域協議会として市に欠かせない斎場の配置等に対し意見を取りまとめましたので提出いたします。

### 記

他に類のない広域な都市面積の合併をした上越市は、斎場の数や所在位置について特段の配慮を必要としつつ、吉川区の実状を鑑みて、頸北斎場の更新を含めて、存続を望みます。

斎場自体、ともすると設置を嫌われかねない建物で特殊な存在です。したがって今ある斎場の数や位置は慎重に取り扱うべきと考え、今後もしかりに長寿命化も含め維持存続を図るかが重要であります。

さらに、想定される地震や土砂災害など不測の事態を考えると、当然複数の斎場を保有することが最善です。

今後の斎場計画は、資金的合理性だけでなく、市民に寄り添い、市民が望む利便性や効率性、更には地域経済や葬祭慣習に配慮した斎場のあり方を求めます。